

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 71

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常		
事務事業名称	青少年育成センター等整備事業	担当部署	市史編さん担当	
総合計画上の位置付け	学び-教育環境を整える-若い力を健全に育成する-青少年健全育成の推進			
対象	施設利用者			
手段(方法)	施設の改修等整備を行う。改修工事については都市整備課に移管			
手法(該当番号を記入)	3 <input type="checkbox"/> 1 直営 <input type="checkbox"/> 2 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金			
意図(ねらい)	館内に使用されている高濃度PCB含有蛍光灯安定器をすべて取り外して照明器具を改修し、PCB廃棄物の期限内処理を適正に行うことによって、健全な施設利用環境を整える。			
実施の必要性(該当番号を記入)	2 <input type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input checked="" type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務			
根拠法令・条例等	ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法			
その他実施の根拠				
始期・終期	1 年度 ~ 2 年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	高濃度PCB含有蛍光灯安定器取外し・改修照明器具台数 226台、高濃度PCB廃棄物処理総重量 390.47kg			
単年度目標(達成状況)	29年度実績		達成状況	%
	30年度実績		達成状況	%
	元年度計画	高濃度PCB含有蛍光灯安定器取外し・改修照明器具台数 226台	達成状況	- %
	元年度実績	高濃度PCB含有蛍光灯安定器取外し・改修照明器具台数 226台	達成状況	100 %
	2年度計画	高濃度PCB廃棄物処理総重量 390.47kg	達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
照明器具改修(台数)	226			226	226	
PCB廃棄物処理(重量kg)	390.47					390.47
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
青少年育成センター等整備事業				4,500,000	4,406,400	11,200,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債			4,000,000	3,900,000	10,000,000
	その他					
	一般財源			500,000	506,400	1,200,000
直接事業費総額		0	0	4,500,000	4,406,400	11,200,000
人件費:人日数	一般職員:人日数			12	12	12
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数					
人件費総額		0	0	228,000	228,000	228,000
総事業費計		0	0	4,728,000	4,634,400	11,428,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	照明改修工事の実施による				
	元年度予算と2年度予算の比較	PCB廃棄物の処分費が高額なため				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)

事務事業遂行上の課題	老朽化した建物にもかかわらず利用頻度が高く、必要な個所の改修等を行い、施設の有効利用と利便性の向上を図りたい		
市民のニーズ・満足度	安全安心な環境での施設利用		
連携事業			
関連事業			
対象の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり		
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業		
手段の妥当性	下の該当番号を記入	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある		
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	2	理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()		
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可	1	理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている		
有効性	目標達成度	100 %	理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入	2	
<input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()			

4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)

事務事業実施による成果と課題	照明改修により健全な利用・執務環境を整えることができた		
次年度予算への見直し方針	PCB廃棄物の処理を期限内に適正に行うよう進める		
関連部課等との協議状況			
関連部課			
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持)	▼
	国の「インフラ長寿命化計画」にのっとり、個別施設計画を策定し、それに基づいて以後の対策を検討・実施する		

5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)

上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入	2	
	<input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()		
今後の方向性	右の該当を選択	2継続(現状維持)	▼
	2年度の取り組み方針	PCB廃棄物の期限内処理を適正に進める	
	3年度以降の展開方針	個別施設計画を策定し、以後の対策を検討・実施する	

部長の確認所見	利用状況に応じた適切な施設管理を継続して実施することが必要
---------	-------------------------------

令和元年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 337

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input type="checkbox"/> 投資 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常					
事務事業名称	市史等編さん事業	担当部署	市史編さん担当				
総合計画上の位置付け	学び-個性ある地域文化を創造する-歴史・伝統文化を継承し活用する-地域文化財の保存・顕彰と伝統文化の継						
対象	『図説市史』『赤穂史百話』『市史史料集』シリーズ、忠臣蔵浮世絵データベース、西山松之助氏寄贈書籍等						
手段(方法)	『図説市史』『赤穂史百話』『市史史料集』シリーズの編集・発行を行うとともに、赤穂市所有資料のデジタル・アーカイブに努める。また継続して資料の充実を図るとともに、28年度に移送が完了した西山松之助氏寄贈書籍等の目録作成に取り組む						
手法(該当番号を記入)	2	<input type="checkbox"/> 1 直営	<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金	
意図(ねらい)	『図説市史』『赤穂史百話』『市史史料集』シリーズなどの修史事業に継続して取り組み、市民文化の向上に資する						
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)		<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等							
その他実施の根拠	他市町においても市史・町史を編さん・刊行している。また、デジタル・アーカイブの取り組みも活発化してきている						
始期・終期	26 年度 ~ 5 年度						
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	『図説市史』(2,500部、5年度)、『赤穂史百話』(2,500部、29年度)、『市史史料集』(1,000部、毎年度)、忠臣蔵浮世絵データベース(30年度運用開始)、西山松之助氏寄贈書籍等受入れ(約15,000冊、28年度完了)、西山寄贈書籍等目録作成(2年度完了予定)						
単年度目標(達成状況)	29年度実績	『赤穂史百話』発刊 2,500部、『市史史料集』第4集発刊 1,000部、西山氏寄贈書籍等目録入力 4,853冊、DBデザイン・メタデータ作成 2,005件				達成状況	100 %
	30年度実績	『市史史料集』第5集発刊 1,000部、西山氏寄贈書籍等目録入力 4,997冊、DB運用開始全データ数/アクセス数 2,005件/4,001件				達成状況	100 %
	元年度計画	『市史史料集』第6集発刊 1,000部、西山氏寄贈書籍等目録入力 約3,500件、DBアクセス数 4,000件				達成状況	- %
	元年度実績	『市史史料集』第6集発刊 1,000部、西山氏寄贈書籍等目録入力 4,096件、DBアクセス数 3,285件				達成状況	100 %
	2年度計画	『市史史料集』第7集発刊 1,000部、西山氏寄贈書籍等目録入力 約3,500件、DBアクセス数 4,000件				達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	29年度実績	30年度実績	元年度計画	元年度実績	2年度計画
『市史史料集』の発行(部数)		1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
『図説市史』『赤穂史百話』発行(部数)		2,500				
収集資料の整理(冊数)		174	195	300	161	300
西山氏寄贈書籍受入・整理(冊数)		4,853	4,997	3,500	4,096	3,500
『市史』『忠臣蔵』等の販売(冊数)		268	424	1,000	146	1,000
データベース作成・収録データ数/アクセス数		2,500/—	2,005/4,001	2,005/4,000	2,005/3,285	2,500/4,000
直接事業費	単位:円	29年度決算	30年度決算	元年度予算	元年度決算	2年度予算
市史等編さん事業		6,192,615	3,679,531	4,080,000	3,757,220	3,900,000
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他	421,640	450,830	1,766,000	197,050	1,757,000
	一般財源	5,770,975	3,228,701	2,314,000	3,560,170	2,143,000
直接事業費総額		6,192,615	3,679,531	4,080,000	3,757,220	3,900,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	192	192	144	144	144
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数			60	60	60
人件費総額		3,648,000	3,648,000	3,150,000	3,150,000	3,150,000
総事業費計		9,840,615	7,327,531	7,230,000	6,907,220	7,050,000
主な増減理由	30年度決算と元年度決算の比較	ほぼ横ばい				
	元年度予算と2年度予算の比較	ほぼ横ばい				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	『図説市史』『赤穂史百話』『市史史料集』編さんの推進。データベース運用開始と活用促進。西山氏寄贈書籍等目録作成の推進
市民のニーズ・満足度	赤穂の歴史や文化、忠臣蔵に関する理解と関心を深めることができる
連携事業	特になし
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
	下の該当番号を記入 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
	下の該当番号を記入 ※複数可 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 3 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
	目標達成度 100 % 理由等所見欄 計画通り『史料集』発刊、西山蔵書目録作成継続、DV活用促進に努めた 上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	『図説市史』『市史史料集』の編さんに継続して取り組み、忠臣蔵浮世絵データベースの活用促進を図るための事業を検討・実施する。既刊図書の販売促進に努める。西山氏寄贈書籍等の目録作成を早期に完了させ、以後の公開活用の方策を検討する
次年度予算への見直し方針	各種編さん事業の積極的・計画的な推進を図る
関連部課等との協議状況	
関連部課	文化財係、歴史博物館、行政課情報政策係、企画広報課
今後の方向性	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼ 歴史・文化史料の集積を積極的に行い、『図説市史』等の編さん・刊行に努めるとともに、デジタル・アーカイブを含めた資料の公開活用の研究と促進を図る。その際、市史、文化財係、歴史博物館で収集した資料や情報の共有化を進める
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 2 <input type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
今後の方向性	2年度の取り組み方針 『市史史料集』シリーズの継続発刊、『図説市史』の編さん、忠臣蔵浮世絵データベースの活用促進を図る。西山氏寄贈書籍等の目録作成に継続して取り組む
	3年度以降の展開方針 『図説市史』『市史史料集』シリーズの編さんに取り組む。忠臣蔵浮世絵データベースの運用をはじめ、資料の集積と公開活用の促進を図る
部長の確認所見	市史のデータベース化の推進と活用が必要